

主な内容

- 56年度市長市政執行方針 公共下水道・市民センター・川上総合公園に着手 「新生登別、街づくり元年」…………… 2・3 P
- 56年度事業予算案のあらまし 「街づくり元年、に積極型予算 総額は10増の152億円」…………… 4・5 P
- 待望の市内循環バス運行 道南バスが4月から実施…………… 6 P
- 婦人短期大学を受けよう…………… 7 P



市民センター完成予想図

待望の「市民センター」に着手

多目的大ホールは1,200人収容 今年度から3ヵ年計画で建設

コミュニティ活動の拠点——待望の市民センター、が今年度から3ヵ年事業で建設されます。

市民センターは、富士町7丁目の旧職員住宅を解体した跡地、約1万3,300㎡の敷地に鉄筋コンクリート2階建て延べ4,658㎡の建物となります。

総事業費約13億円という大型事業で、今年度は3億3,600万円をかけて着手します。

1階は、演劇からコンサート、講演会など多目的に使える1,200人収容の大ホールを中心に、90人収容の会議室、展示ホール、60人収容の食堂、サークル活動室、木工室など。

2階には、結婚式や集会、研修会など多目的に使用できる500人収容の中ホール、さらに展示ホール、視聴覚室、調理室、婦人サークル活動室、児童室などが設けられます。

また、お年寄りのための老人休憩室と身体障害者用トイレを備え老人、身障者の利用にも配慮しています。

59年春オープンの手配ですが、市では、1日も早く利用できるよう、建設の早期完成を目指しています。完成後は、市内随一の文化施設として、文化活動をはじめ、サークル活動や各種の公演など幅広い活用が期待されます。

4.1

1981

総合公園に着手

登別市は、昭和四十五年、道内三十番目の新市として誕生して以来十年を経過、昨年の国勢調査の結果、人口五万六千五百三人、道内第十三位に位置する中堅都市として伸展をするに至りました。

このような時に、早くも就任三年目を迎えたが、私はこれまで、本市が構造上に不足しているものを補い、自立型都市への脱却をはかるため、昨年度に、懸案であった登別市総合基本構想と中期財政計画を策定しました。

今年度は「観光と工業と学園都市」建設実現のため、いよいよ政策実行の年を迎えました。

最大の懸案でありました学園都市建設構想の第一歩として、日本工学院北海道専門学校が、昨年秋季校舎の建設に着手しました。同専門学校は五十七年四月開校に向けて全力を傾注していきます。

多くの学生が集まり、有能な人材がより多く輩出することが、学校の経営を安定させ、街をうるおし、文化生活を高めることは言うまでもありません。

品性と知性にあふれる「風格のある街づくり」を目指し、「行政と市民が一体となった、「学園都市構想」の実現に努力します。

次に、本市が構造上から立ち遅

れています都市基盤整備について、川上総合公園

二、公共下水道事業

三、国道36号線、海岸バイパス調査

四、市民センター

——の四大事業を政策の核として

① 長期的視野に
立った都市基盤づくり

快適な生活環境へ
公共下水道に着手

都市基盤づくりの最重要施策として、公共下水道事業に着手します。

近代都市機能にとって欠くことのできない公共下水道は、全市民の望みの水酸化の第一歩であり、息の長い事業になりますが、市民のみならずご協力をお願いします。

国道36号線の海岸バイパスなど

道路網の見直しへ

関係機関のご理解を得て、国の本年度予算に調査費が計上されましたので、今後その促進に向けて努力を続けます。

また、併行して海岸バイパスと内陸地帯を結ぶ道路網を検討するため、幌別地区国鉄横断立体橋の調査費を予算化しました。



道南、道央を結ぶ主要道路として年々交通量の増加が著しい国道36号線。(幌別町市街)

公営住宅を
年次計画で
改善します

新生町団地に公営住宅を新設するほか老人同居対策を含めた、公営住宅の改善事業として本年度を第一年次に、幌別西団地の一部を浴室を設けた3DKの住宅に改善します。

さらに、柏木団地に自転車置き場を設置するとともに、公営住宅建設用地を新生町に取得します。

また、今年度あら

● 警察署の早期設置

● 消防体制の強化

● 交通安全施設の充実

② 健康で快適な
生みよい生活
都市づくり

● 過疎地域電話設置助成(幌別鉾山地区住民を対象に)

● 水資源の確保(水資源の開発、調査のため、三河川の調査と登別上水道第一期拡張事業を推進)

たに、ウタリ住宅新築資金等貸付条例を制定して、住宅の新築、改善のための便を図ります。

幌別ダム下に、自然の景観を生かした「川上総合公園」

幌別ダム下に、九・五ヘクタール、夏はサッカー、冬はスケートリンクになる多目的広場を中心に野球場、テニスコート、子供連のための冒険の森などを配置し、できる限り、周辺の自然景観を生かした「自然公園」として造成します。

総事業費は約十二億円を見込み、昭和六十年完成に向けて最善の努力をします。

このほか、さわやか、富士、望洋の各公園、運動広場などを造成し、市民の余暇の有効利用と憩いの場の実現に努めます。

△その他主な施策▽

● 上覧別墓地の整備と火葬場改修

● 医療問題(眼科、耳鼻科などの常設診療機関について、ねばり強く、関係方面に働きかけます)

「政策実行の年」へ

三月三日から開会された昭和五十六年度第一回定例市議会にて、中浜市長は、昭和五十六年度の市政運営の基本方針と施策の大要を発表しました。市政執行方針の概要は次の通りです。



中浜市長が発表する昭和五十六年度第一回定例市議会市政執行方針(3月4日、市議会本会議で)

新生登別、街づくり元年

て、今年度から着手しますが、いずれもまちづくりの根幹であることから、今年度を「新生登別、まちづくり元年」とし、目的達成のため全力をあげる決意です。

新年度予算の総合計は、百五十

このほか、主要幹線の道々上登別室蘭線、都市計画街路中央通り、若草小学校地区の改良事業をはじめ、登別海岸通り舗装事業、富士町大排水路改修事業など、市内一円の市道舗装、排水事業を積極的に行ないます。

△その他主な施策▽

● 若草と線人道橋の設置

● 市内バス循環線の運行(詳細は本紙六ページに掲載)

二億六千七百四十六万九千円となり、昨年度予算に比較しますと、十四億円の増額で、一般会計の伸び率は十三・六割であり「まちづくり元年」にふさわしい、積極型予算となりましたが、厳しい経済

情勢の中で健全財政を維持しながら、政策実行の年の予算として編成いたしました。

以下、施策の大要は次のとおりです。市民のみならずの絶大なご協力、ご支援をお願いいたします。

公共下水道・市民センター・川上



56年度市長市政執行方針

③ 安心して暮らせる社会福祉づくり

国際障害者年に向けて、各種施策を

障害者の方々を快よく迎え入れるために市役所正面玄関の自動化と、専用トイレを新設します。

また、登別・室蘭・伊達三市のスポーツ交流会、ミニ・Sの搭乗会、身体障害者自動車ガソリン税助成、盲導犬取得費補助、記念講演開催などの事業を実施します。

美園町に、運動広場を併設した児童センターを建設

児童の健全育成については、幼少から社会適応の習慣が大切なので、青少年問題協議会などの意見を

を充分尊重しながら、各地の子ども会の育成に配慮し、児童館の運営についても、組織と一体となった魅力あるものにし、と考えています。

幸い、美園町に適地を得ましたので、運動広場を併設した、約三百平方メートルの児童センターを建設します。

さらに、児童遊園地設置事業の助成を行ない、児童厚生施設の充実を図ります。

△老人福祉施策▽

今春（四月二十五日）に待望の「老人福祉センター」が開館されますので、同センターの庭園造成事業に着手します。また、老人憩の家二カ所の買収と、狭い老人憩の家の改築も行ないます。

④ 豊かな人間性を育てる教育文化都市づくり

市民センターの早期完成に努力

千二百人収容の多目的大ホールを備えた文化会館で、国の補助を受け三カ年計画で着手しますが、市民が一日も早く完成することを望んでいることを、国にうったえ、年度を短縮して、完成するように努力いたします。

スポーツの振興に

全国パトミントン大会などに助成

六十四年国民体育大会の北海道開催にともなう、パトミントン競技の開催地が、全道他市に先駆けて本市に内定したことは、誠に喜ばしいことです。

関連して今年、全国社会人パドミントン大会が、本市総合体育館を中心に繰り広げられることになりましたので、競技場の整備と大会運営補助を行ないます。

また、全道中学校バレーボール大会、全国実業団バレーボール大会、北海道少年剣道練成大会などが当市で開催されますので、それぞれ助成をいたします。

△その他の施策▽

- 公立、私立幼稚園の格差是正
- 教育環境の充実（古い校舎の大改修と鷺別中学校体育館の床を改修、グラウンドの整備など）
- 中学校の新設（生徒急増地域である鷺別中学校の過大学級解消のため、校地の造成を実施した富岸地区に、十五学級規模の中学校を、二カ年継続事業で建設します）
- 埋蔵文化財緊急発掘調査事業

⑤ 市の発展を支える産業基盤づくり

△農業の振興に▽

- 札内開拓婦人ホームの補修
- 自給飼料生産向上特別対策事業
- 地域農政特別対策事業

△水産の振興に▽

- サケ・マスふ化放流施設を建設
- （昨年来の調査により、クヌギサンベツ川にも、サケ・マスが上ってくるという。信頼すべき結果が出ましたので、水産資源確保の一つとして実施します）
- えそばか貝・ほっき稚貝放流事業

- 鷺別漁港西防波堤消波ブロック布設事業

△商業の振興に▽

新しい時代に対応する、中小企業の近代化を推進

まず、消費者サービスとして「肉の日」「青果の日」「魚の日」を設けます。

大型店の進出が予想される中で小売商業店が共同して店舗を作り、自立の道を求めるという努力や、商店街環境整備、工場集団化、商工業の組織化などに対して、中小企業振興助成事業を実施するための条例を制定します。

さらに、観光地区商店街開発に関する調査について助成し、綿密な開発計画を商工会議所とともに策定します。

△観光の振興に▽
観光地の玄関口としてふさわしい駅前広場とするため、国鉄登別駅前の整備をいたします。
また、上登別には歓迎塔を、紅葉谷入り口には花壇を、さらに大湯沼、奥の湯に防護柵ならびに観覧施設を設置するなど観光施設の充実のため、予算化を図りました。

△その他の施策▽

- 登別・室蘭・伊達三市共同の企業誘致運動の推進
- 登別地方高等職業訓練校の充実
- 高齢者事業団の育成と運営援助

⑥ 明るい地方自治で、市民生活を築くために

市民の意志を行政に、各種アンケート調査を実施

平和な街、民主主義のルールが守られる街は誰もが望む所であり市民と市長が相互一体となった信頼感のある街、知性と品性にあふれる「風格のある街づくり」が私の念願であります。

市民参加による市民の意志を行政に反映するため、各種アンケートによる市民意向調査「私の声を市長に送る月間」などを実施し市民の手によって創られる街を基本理念といたします。

さらに、財政健全化を推進し、人員の適正配置による人件費の抑制、制度の見直しなど、行政改革のため、職員による審議会を設置して機構、定数などの検討を進めていきます。

昭和56年度登別市各会計予算総括表

(単位 千円)

会計区分	昭和56年度 予算額	昭和55年度 当初予算額	比較増減	伸率
一般会計	11,936,000	10,509,000	1,427,000	13.6
特別会計				
国民健康保険	1,809,611	1,570,071	239,540	15.3
観光事業	91,894	82,724	9,170	11.1
学校給食	405,460	396,119	9,341	2.4
区画整理	307,410	525,813	△218,403	△41.5
小計	2,614,375	2,574,727	39,648	1.5
合計	14,550,375	13,083,727	1,466,648	11.2
水道事業会計				
区分	昭和56年度 予算額	昭和55年度 当初予算額	比較増減	伸率
収益的支出	351,626	273,155	78,471	28.7
資本的支出	365,468	507,843	△142,375	△28.0
計	717,094	780,998	△63,904	△8.2

元年、に積極型予算

総額は10%増の152億円

「新生登別、街づくり元年」として、懸案の大型事業である公共下水道、市民センター、川上総合公園などを盛り込んだ昭和56年度予算案が、3月3日から開会された第1回定例市議会にて審議されました。

今年度予算は、これまでの行財政運営〔54年度は調査、計画の年。55年度は財政再建元年として、総合基本構想および、その財政的裏付けとなる中・長期財政計画を策定。〕に基づき、「政策実行の年」として、積極的予算を編成しています。

この結果、各会計を合わせた総額は152億6,746万円で、昨年度当初予算と比べ10.1%の伸びとなりました。今年度予算案から、主な事業をご紹介します。(金額はすべて、千円以下切り捨て)

観光のイメージアップに登別駅前を整備 公園や運動広場など、憩いの場を各地に

●中小企業振興助成事業 1,000万円
今議会に提案された「中小企業振興条例」に基づき、小売商店店舗共同化などに対する助成金として計上しました。

●登別駅前周辺整備事業 1,500万円
駅庁舎横に5.4m四方の観光案内板を設置するのをはじめ、駅前中央に円形のロータリー広場を造成し、この中には芝生や花壇、歩道を設けます。また、登別温泉のシンボル鬼の立像、歓迎塔を配置するほか、駅前バスハイヤー乗り場に延長25mの上屋(シェルター)を設置し、観光駅としての装いを整えます。



観光駅にふさわしい装いを
—整備される登別駅前

●若草こ線人道橋設置事業 6,130万円
地域住民の強い要望を受けて、若草町と国道36号線を結ぶ国鉄横断歩道橋を設置し、長い間の住民の不便を解消します。

●登別海岸通り舗装事業 4,800万円
51年度から着手しましたが、今年度866mの舗装により全区間が完了します。

●富士町大排水路改修事業 1,500万円

昨年度からの継続事業として実施し、北海道の工事とともに今年度で完了します。

●市道舗装排水整備受託事業 2億円
市内一円の市道舗装4,658m、排水整備5,162mを実施します。

●川上公園新設事業 6,600万円
観別ダム下に総事業費約12億円を投入し、

●教育施設整備受託事業 1億3,100万円
小・中学校の校舎などの補修や改修をはじめ、総合体育館の整備、市民プールの大改修を行ないます。

●仮称・鷺別中学校分教場建設事業 3億3,942万円
富岸神社裏手の敷地に、今年度と来年度の2カ年継続事業として着工し、58年4月開校の予定です。今年度は、鉄筋コンクリート4階建て延べ4,881㎡の校舎建設をはじめます。同中学校は、2階と3階に普通教室15学級を集約し、3階までの各階に職員室を配置したほか、特別教室(音楽、視聴覚、木工、金工室など)11教室が完備されます。

●埋蔵文化財緊急発掘調査事業 2,200万円
先人の残した文化財を保護するため、市内2遺跡の発掘調査を実施します。調査地点は千歳町97番地の3,875㎡と同町4丁目10番地の225㎡で、いずれも縄文時代中期(約4,500年前)の竪穴式住居地として有力視されています。調査期間中に、親子体験学習を計画

昭和60年完成を目指しています。今年度は用地買収費の一部を計上しました。

現在の川上湖畔、望洋公園も合わせて整備し、約25ヘクタールにおよぶ広大な公園づくりを推進します。

●運動広場造成事業 1,910万円
観別町7丁目、鷺別町2丁目、常盤町2丁目、美園町6丁目、札内地区の合計5カ所を造成します。

●さわやか公園新設事業 1,200万円
若草町2丁目、若草幼稚園横に遊具施設などを整えた児童公園を設置します。

富岸地区に中学校を新設(58年4月開校へ) 親子体験学習も…埋蔵文化財発掘調査

するほか、出土された遺物は6月オープン予定の郷土資料館にも展示する方針です。

●市民センター建設事業 3億3,600万円

<過年発生災害復旧事業>

昨年8月の大雨災害は、多くの市民を恐怖に追い込み、住宅、道路、公共施設などに大きな被害をもたらしました。昨年度に引き続き、復旧工事の完了へ向けて取り組みます。

●農業用施設災害復旧事業 1億4,900万円
富浦第1地区(水路)、東札内地区(橋梁)

●公共土木施設災害復旧事業 1億3,540万円
道路災害(14本)、河川災害(4本)

●文教施設災害復旧事業 3,200万円
青葉小学校グラウンド斜面等

<水道事業会計>

●配水管改良工事 2,427万円

●若草町5丁目高台地区配水施設築造事業 2,900万円

●量水器新設・更新事業 6,352万円

●登別上水道第1期拡張事業 2億2,100万円



常盤町から柏木団地を望む

56年度 事業予算案 のあらまし

“街づくり

庁舎の改築など国際障害者年を推進 生きがい対策…高齢者事業団に助成

●国際障害者年推進事業 714万円

本庁舎の玄関と1階トイレの一部を身障者用に550万円を改築するほか、登別・室蘭・伊達3市による身体障害者スポーツ交流会、身体障害者自動車ガソリン税助成、ミニ・S L搭乗会を実施します。

●過疎地域電話設置助成事業 24万円

加入電話区域外となっている鉾山地区では電話を設置する際、多額の自己負担を必要とするため、同地区の3世帯を対象に線路設置費の一部補助を行ないます。

●ウタリ住宅新築資金等貸付事業 3,050万円

市内に居住するウタリの居住環境の整備と福祉増進を図るため、住宅新築資金、住宅改修資金、土地取得資金に、低金利の貸し付けを行ないます。

●児童センター建設事業 4,164万円

美園町5丁目36番地に、従来の児童館よりひと回り大きく、グラウンドも併設して建設します。同センターの床面積は298.5㎡で、遊戯室、集会室、図書室などが設けられます。

●交通安全対策事業 2,670万円

継続事業として、中央通り400m、鷺別学園路線130mの歩道舗装を行ないます。

●じん芥収集車更新事業 91万円

高台地区のごみ収集業務を円滑に進めるため、全輪駆動車1台を購入します。これに必要な購入費に対する今年度の経費を計上しました。

●高齢者就労対策事業 30万円

お年寄りの就労機会を増やすとともに、生きがい対策を進めるため、6月上旬発足する予定の「登別市高齢者事業団」に対し、運営資金を助成します。

同事業団は、60歳以上の方に軽労働を登録制で紹介するもので、庭の手入れや大工仕事、

子守りなど職種に応じて一定の労賃が支払われます。

●札内地区飲雑用水施設拡張整備受託事業 5,200万円

日本工学院北海道専門学校の開校ならびに札内地区の発展のため、飲用水の確保を図ります。

●さけ・ますふ化放流施設建設助成事業 820万円

総事業費8,000万円で、さけ・ますふ化放流施設が登別川水系に建設されます。北海道さけ・ます増殖事業協会が事業主体となって施設の整備を実施するもので、市では建設費の助成を行ないます。

建設位置は、中登別町70番地小笠原緑化前で、約2,400㎡の敷地に上屋付きの養魚池12カ所、飼育池2カ所、さらにわき水を引く導

入路などが造られます。年間の増殖規模は約500万匹で、近い将来、登別の漁業もさけ・ます漁で活気にあふれるものと期待されます。

●水産振興助成事業 562万円

ほっき稚貝・えぞばか稚貝の移殖放流事業に対して、今年度も継続して助成をします。

●鷺別漁港西防波堤消波ブロック布設事業負担金 200万円

漁船の安全操業と堤防の破損を防ぐため、北海道が事業主体となり、総事業費5,000万円でテトラポットの投入などが行なわれます。

56・57年度の2カ年継続事業で実施され、今年度地元負担額として計上しました。



とる漁業から育てる漁業へ—さけ・ますの放流施設が建設される登別川水系

長期大型事業…公共下水道へ踏み出す 公営住宅の建設、環境整備を積極的に

●公共下水道事業 1,000万円

都市基盤に欠かせない、永年の懸案事業でした公共下水道事業がスタートします。

56年度から65年度までの第1期整備計画では、幌別地区の中央町、富士町、新川町を中心に約166ha、計画人口は1万2,000人を見込んでいます。今年度は、富士町5丁目の富士2号公園横に汚水管を敷設します。

●都市下水路整備事業 1億3,500万円

若草町の国鉄沿線に、今年度は延長749mを継続事業として実施します。

●公営住宅建設事業 2億9,814万円

新生町2丁目に第1種公営住宅、5階建て1棟30戸(3LDK)を建設します。また、隣接地に幼児遊園地の整備を実施します。

●公営住宅改善事業 900万円

老人同居対策を含めた、公営住宅の改善事業を年次計画で実施します。今年度は、幌別西団地の1棟4戸のうち、2DK3戸を3DK2戸とし、洗面脱衣室、浴室を設けます。

●公営住宅建設用地取得事業 1億2,230万円

今年度建設用地と57年度建設予定地の先行取得を行ないます。

●公営住宅環境整備受託事業 1,700万円

柏木団地に自転車置場5棟分を設置するほか、各団地の排水路整備を実施します。

●消火栓新設事業 720万円

市内各地の消火栓を検討した結果、新たに12基の消火栓を設置します。また、消防用ホース購入事業に160万円を計上しました。

婦人短期大学を受けよう

市教育委員会では、今年五月から、登別市としては初めての、婦人短期大学（二年制）を開校します。

申込み期間 4月15日～30日
申込み先 市教育委員会社会教育課（電話②111内線349）
修了証・卒業証 各学年の修了者には修了証を、二年間を修了した方には、卒業証書を交付します

開設の主眼は、時代に適應できる豊かな人間性を養い、生きがいのある人生を築くため、婦人の生涯教育の場として、開設するものです。

学ぶということ、精神的充足感を得、より前向きに生きることへの足がかりとして、この機会を利用してみませんか。

コース 必須コース（一般教育）のほか、選択コースとして、心理学、文学、茶道、軽スポーツの四

コース名	回数	会場	月	講義	題目	月	講義	題目
一般教育	2回	中央公民館	5	生涯教育について	同上	9	福祉とボランティアの経済	ボランティアの経済
			6	婦人の社会参加について	同上	10	保健教育活動	同上
			7	同	同上	11	主婦の法律知識	同上

※1コース必ず選択 5月～11月

コース名	回数	会場	講師	定員	内容
心理学	1回	中央公民館	室大心理学教授 大子敬	50	講義
文学	1回	中央公民館	室大文学部教授 藤原文子	50	講義
茶道	1回	中央公民館	協会委員 佐藤文子	50	実技・講義
軽スポーツ	2回	青年会	委員 藤原文子	30	卓球、バドミントン、テニス

※コースにより教材費を徴収します。

公民館講座

「料理教室」の案内

市教育委員会では、次の通り、「料理教室」をひらきます。定員三十名になり次第締め切りですので、早めに申し込みください。

- ◎日時 4月18日、20日いずれも午前10時～12時
- ◎場所 富浦婦人研修の家
- ◎講師 小野寺和子先生
- ◎受講料 無料
- ◎材料費 千円（二日分）
- ◎当日持参するもの 筆記用具、エプロン、手ふき、三角巾
- ◎申込先 市教育委員会社会教育課（電話②111内線349）

線路内では遊ばせない



例年四月から六月にかけて、線路に「置き石」や「置き物」などのいたずらが多くなり、そのほとんどが幼稚園児や小学校低学年生によるものです。こうした鉄道妨害は、動機が単なるいたずらであっても、自らを危険にさらすだけでなく、一歩間違えると、大勢の人に迷惑をかけることとなります。

子供たちの安全のために、そして列車の安全を守るために、次のことに協力ください。

- ▽線路内や線路近くで遊んでいない子供を見たら、積極的に注意し、安全な場所に移動させてください。
- ▽線路上に不審物があった場合はすみやかに駅、公安室、または警察に連絡してください。

移動図書館の巡回日を変更

本年四月から、「ソーダ社宅」は利用が少なくなりましたため、巡回を廃止します。

また、「川上ストア横」は、これまでの第一、第三土曜日から、第二、第四水曜日に変更します。くわしくは、配付済の巡回日程表をご覧ください。

（登別市立図書館④4324）

新入学児童を交通事故から守りましょう



4月6日～15日 春の交通安全道民総ぐるみ運動

いよいよ新学期が初まります。交通事故がひんぱんに起きている中で、子供たちが胸をふくらませて学校へ行く姿を見ると、保護者の方々は、毎日の無事を祈らずにはいられないことと思います。

お子さんと一緒に通学（通園）道路を歩いてみて、その途中のきまりをよくおぼえさせ、道路の安全な歩き方をしっかりおしえてください。

また、学校（園）の生活に慣れてくるころには、子供たちは最初に教えられた交通のきまりなど忘れがちになり、事故にあらう危険が多くなります。

家庭では一カ月くらいたったころに、もう一度道路の正しい歩き方や交通のきまりをよく教えてください。

（公書防災課交通安全係）

障害者とともに

耳の不自由な人というだけで、話しかけるのをやめてしまう方もいるようです。しかし、耳の不自由な人には、話し好きな人が多いですから、まず、あなたの方から心を開いて接してみてください。

いろいろな話し合いの方法

話の方法にはいろいろあります。話しかけるときは、正面から顔を見合わせるようにして、口、元が相手によく見えるようにすることが肝心です。

会話の方法には、次のようなものがあります。

- △口話▽ 口の動きを読みとるものですが、正面から、口をやや大きく開いて、はっきり、そしてゆっくり話してください。また「たはこ」など、便が多いことはいまさら言うま
- △筆記▽ いわゆる筆談ですが、できるだけわかりやすい文章を用いましょう。多少時間がかかりますが、正確です。

でもありません。目覚まし時計が役に立たないために朝寝坊をしてしまったり、病気で会社を休むことになって、も連絡のとりにくく、無断欠勤になってしまったり、また近くで火災が起きても消防車のサイレンや人声がきこえないために全く気がつかなくなったり、このような、不便で時には危険を伴う生活の中で、耳の不自由な人たちは、たとえば目覚まし時計の代わりに扇風機を用いたタイム・スイッチをセットして風で起床時間を知るなど、さまざまな工夫をこらしています。近くに住むわたしたちが、だんから親しくしていれば、こうした生活の不便も解消されることではないでしょうか。

耳の不自由な人というだけで、話しかけるのをやめてしまう方もいるようです。しかし、耳の不自由な人には、話し好きな人が多いですから、まず、あなたの方から心を開いて接してみてください。

耳の不自由な人というだけで、話しかけるのをやめてしまう方もいるようです。しかし、耳の不自由な人には、話し好きな人が多いですから、まず、あなたの方から心を開いて接してみてください。

耳の不自由な人というだけで、話しかけるのをやめてしまう方もいるようです。しかし、耳の不自由な人には、話し好きな人が多いですから、まず、あなたの方から心を開いて接してみてください。

胃集団検診を受けよう

がんによる死亡は、年々増加傾向にあり、登別市内では、死因の一位はがんです。(二位、脳卒中三位、心臓病)

現在は医学が進み、早期発見・早期治療により、助かるケースが多くなりました。

集団検診を受けることは、胃がんで死なないことの最良の方法です。この機会を利用して、自分の健康を確かめてみましょう。

特に、四十歳以上の男性で、一度も受けていない方は、すずんで受けましょう。

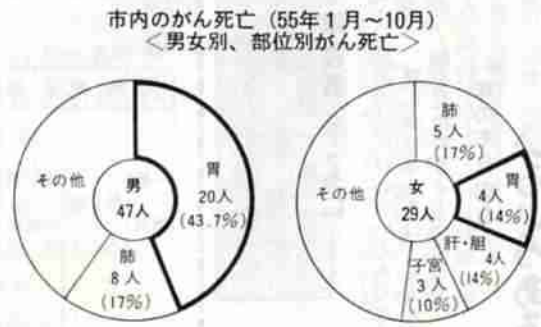
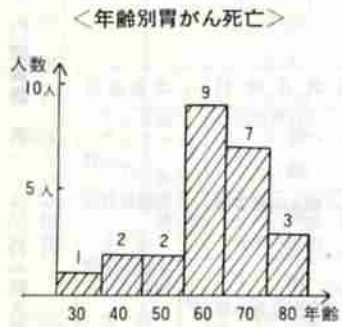
●受付期間 四月十五日から、定員になり次第締め切ります。

●対象者 満三十五歳以上(ただし、近親者ががんなどの疾病が

実施月日	実施場所	定員	受付時間
5月20日	労働福祉センター	各100名	午前7時30分～9時30分
5月21日	労働福祉センター		
5月22日	鷺別公民館		
5月23日	婦人センター		

ふれあう心の合言葉

一、自然を愛し力をあわせて、緑と空気の太陽のいっぱいあるきれいなまちをつくりましょう。



ある方は満三十歳以上)
●検診料 ・ 社会保険など一般：二千九百円 ・ 国民健康保険：八百七十円(満七十歳以上の方は六百三十円) ・ 生活保護受

給者および満七十歳以上三千二百円

●申込み先 市保健衛生課(電話2111内線250) および各支所

乳児相談

●内容 医師による診察、計測、生活指導、栄養指導

●用意するもの 母子健康手帳、換えオムツ、バスタオル

●日程と場所

4月23日：鷺別公民館 受付11時15分～11時30分 対象：鷺別地区(大和町、富岸町、若山町三、四丁目を含めた鷺別町、美園町方面)の昭和56年1月出生児

4月24日：商工会館 受付11時15分～11時30分 対象：幌別地区(青葉町、緑町、若山町一・二丁目から中央地区を含め、幸町、新栄町、千歳町までの地域)の昭和56年1月出生児

休日の急病は 夜間の急病は

△当番医か急病センターへ▽

休日や夜間、急に発病した市民のために、急患診察医(当番制)と、室蘭登別急病センターが開設されています。次のことに注意してご利用ください。

●急患診察医

寝たきり老人の短期保護を実施します

市福祉事務所では、四月一日から「寝たきり老人の短期保護」を次の要領で行ないます。

●ご希望の方は、福祉事務所保護課係(5局2111内線294)へ申し込まください。

△保護の対象者▽市内に住む

国民年金の保険料は 4月から4,500円に



国民年金の保険料は、今年四月から一カ月分が四千五百円に変わります。

それは、老齢年金の受給者がふえ続けていくのと、物価上昇に歩調を合わせて年金額が毎年増額するので、国の負担も大きくなります。保険料も改めるわけです。

みなさまの負担も重くなりますが、より良い年金を受け取るためご理解ください。

電話移転の申し込みはお早めに

ついウツカリしがちなのが電話移転の手続き。転動ゾーンになりますと、電話移転の注文が混み合ってきます。

新しい住まいに移っても、電話がつかないとしたら……きつと公衆電話や、お隣りまで走ったりしなければなりません。

引越し先や日取りが決まりしだい早めに申し込んでください。

電話局では、できるだけ希望の日に工事ができるよう努力していきます。

不用品タイヤル市

5局2111 内線 257

おわけします(売り)

オートバイ(250cc)、加湿器、ステレオ、ガスふろ釜(シャワー付)、フィギュアスケート(22cm、24cm)、小学生用スキーセット(靴22cm)、スキーセット(スキー160cm、靴24.5cm)、健康ぶらさがり機、スリーマップ(美容器具)、ガス湯沸器

ゆずってください(買い)

2段ベッド、応接セット、うば車、エレクトーン、ピアノ、電気オルガン、ステレオ、石油ふろ釜、ホームタンク(200～300ℓ)

- △費用負担 一日：一千三百円
- △期間 七日以内(やむを得ない理由があるときは、必要最少限の範囲で延長できます)
- △定員 二名
- △指定施設 室蘭市白鳥台四丁目八八一特別養護老人ホーム白鳥ハイッ
- △介護者などが、疾病・事故・慶弔などの特別な理由や、その他やむを得ない理由で、家庭での介護ができず、一時的に保護する必要があると認められた方。
- △介護者などが、疾病・事故・慶弔などの特別な理由や、その他やむを得ない理由で、家庭での介護ができず、一時的に保護する必要があると認められた方。

●寄贈ありがとうございます(敬称略) ございます(敬称略)

一般寄付

●現金寄附 山田新一、岡上田商會、三・六会、東條康之、東條寿夫、東條和年、森沢庸子、半沢伝作

●物品寄附 石岡商店、パークホテル、新明堂、平間一林、佐竹久夫、長谷川商店、山本豊、佐々木喜代子